

64歳以下のみなさんへ

新型コロナ ワクチン接種が始まります

7月上旬に64歳以下のみなさんに接種券などが入った封筒を送付しています。予約は、基礎疾患のある人、60歳～64歳、高齢者施設等の従事者から受け付けを開始します。

また、予約受付時の混雑を避けるため、年齢区分に応じた受付開始日を設定していますので、郵送された文書を見て、自分の予約開始時期を確認してください。

なお、12歳～18歳の接種については、接種の体制が整いましたら改めてお知らせします。

1 予約方法

24時間対応のWeb予約がお勧めです

予約サイトのQRコードを読み取って必要事項を入力してください。市公式ホームページからも予約サイトにアクセスできます。

ワクチンは、2回の接種が必要です。1回目と2回目の予約は、同時に受け付けします。

Web予約ができない人は、コールセンターに電話で予約してください。

【コールセンター（予約や接種に関する相談）】

☎0570 (66) 6058

午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

※7月22日(木)、23日(金)の祝日は、受け付けします。

※ガイダンス中を除いて通話料がかかります。

※電話は、混み合うことが予想されます。つながらないときは、時間を置いてかけ直してください。

Web予約の方法

スマートフォンやパソコンから予約サイトにアクセスしてください。

<https://www.cvportal.jp/ehimecv/ozu/2021/>

予約サイト
QRコード



1人の予約に1つのメールアドレスが必要です。同じメールアドレスで複数の予約を取ることはできません。

1回目を予約した後に必ず2回目の予約を登録してください。2回目の予約に進むと3週間後（ただし、モデルナ社ワクチンの場合は4週間後）の同じ曜日と会場が表示されます。1回目と同じ曜日・時間、同じ会場で予約してください。

予約の変更や取消もできますので、設定したパスワードを忘れないでください。

※メンテナンスのため午後6時から午後8時の間に受付を一時中止することがあります。ご了承ください。

2 接種会場

3つの会場で集団接種を行います

接種会場	曜日	時間
アクトピア大洲 リジェール大洲	水・木・土曜日	午後1時～午後5時
	日曜日	午前9時～午後5時
河辺診療所	火曜日	午前9時～午後4時30分

※河辺診療所は、河辺地域にお住まいの人とかかりつけ医が河辺診療所の人に限りです。

3 接種の流れ

①接種日を予約（Webまたは電話で）

②予診票を記入（ボールペンで記入）

基礎疾患の治療を受けている人や接種に不安がある人は、郵送された予診票を持参して事前に主治医に相談し、接種を受けてよいか確認してください。

③予約した日時に会場へ

予約時間の15分前を目安に来てください。接種券、記入した予診票、本人確認ができる書類（保険証や免許証など）とお薬手帳（ある人）を持参してください。

④予診票の確認、診察

保健師が予診票を確認してから医師が接種してよいか問診をします。お薬手帳がある人は、保健師に見せてください。

⑤ワクチンを接種

上腕の筋肉に注射するので肩を出しやすい服装で来てください。

接種終了後に接種済証を発行します。

⑥15分間の経過観察

過去にアレルギー症状を起こしたことのある人などは、30分間の経過観察を行います。

感染回避行動と感染予防対策を徹底しましょう
体調不良時は外出を避ける・マスクを正しく着用する・手指消毒を徹底する



NEXT きらめき

小川 舞子 さん (長浜小学校 2年)

「2020みんなの夢・アイデアコンテスト」
小学生の部 最優秀賞、試作賞

昨年度開催された「みんなの夢・アイデアコンテスト」(主催：呉自社商品開発協議会)で小川さんが提案した「ハッピーハンドウォッシュ」が最優秀賞を受賞し、このたび株式会社豊國(広島県呉市)が小川さんのアイデアを実現させる試作品を製作しました。

小川さんのアイデアは、新型コロナウイルス感染症の予防対策として手洗いの大切さに注目し、ポンプが「おかえり手洗いしようね。今日は〇月〇日だよ」としゃべりハッピーバースデーの歌が2回流れるもので、2回くらい歌う時間をかけて手洗いをするとうれいと聞いたことをヒントにしています。「毎日誰かの誕生日なので、その人を思いながら手洗いをするとうれいになれる」との思いも込めています。

試作品は、水栓に取り付けるもので、手を洗う動作中にハッピーバースデーの曲などが流れるとともに、手洗いを進めるとばい菌に見立てたLEDが消えていく仕組みで、手洗いを楽しめる工夫が盛り込まれています。

今年も「みんなの夢・アイデアコンテスト」募集が始まりました。未来を豊かにする便利な製品、すてきなアイデアを考えて応募してください。



大洲の風景



7月1日(水)、例年より1カ月遅れて夏の風物詩、肱川のうかがいが始まりました。屋形船と鶯船が並走して一緒に川を下っていく合わせうかいは、大洲ならではの風景です。

今月の表紙



庭園の重要文化財といわれる国の名勝に指定されることになった「臥龍山荘庭園」は、四季折々の美しさがあります。

今は緑が映える季節ですが、秋の紅葉や雪景色も違った趣きがあります。建物の濡縁からゆっくりと眺めるのがオススメです。

8月の納税など 納期限は8月31日(火)です。

税 別	8月	9月	10月	11月
市 県 民 税	2期		3期	
固 定 資 産 税				
軽 自 動 車 税				
国民健康保険税	2期	3期	4期	5期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」をご利用ください。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人 口	41,533人 (- 37)	件 数 26件(20件)
男	19,906人 (- 22)	死 者 2人(1人)
女	21,627人 (- 15)	負傷者 30人(24人)
世帯数	19,772世帯(- 2)	

(2021年6月末現在)

愛媛防災フェスティバルin大洲が開催されました

6月12日(土)、国立大洲青少年交流の家で公益社団法人日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会の主催(一般社団法人大洲青年会議所主管)による愛媛防災フェスティバルが開催されました。会場では、土石流3D体感シアターや降雨体験装置、煙体験、防災グッズ体験、災害パネル展示コーナーなどが設けられ、来場者は、豪雨や地震による災害の危険性や災害への備えについて学んでいました。

また、「平成30年西日本豪雨を体験し、これからの大洲市に望むこと」をテーマとした作文コンクールの表彰も行われました。



入賞されたみなさん

【愛媛ブロック会長賞】

西山 和花さん(新谷小)

【大洲市長賞】

橋本 莉菜さん(肱川中)

【大洲市教育委員会教育長賞】

實藤 稟さん(大洲小)

【入選】

岩田莉子さん(菅田小)、上田祐稀さん(肱川小)、永木亜美さん(平小)、三好澄真さん(喜多小)、大山陽向さん(新谷中)、酒井花音さん(大洲南中)、塩井留華さん(大洲北中)

【愛媛ブロック会長賞】 災害を経験して気がついたこと



新谷小学校5年
西山 和花

私が平成30年7月の豪雨災害を経験して実感したことは、本当に避難の必要がある人は、現実には避難するのが難しいということだ。

私と祖母の家は、山のそばに建っているので土砂崩れの危険地区になっている。災害があったあの日、朝方に私たちの地区に避難指示の放送が流れた。父と母に起こされて、準備していた物を持って出来るだけ急いで家を出たのに、もう既に避難する予定だった新谷小へ行く道は水でふさがれていた。そこで、新谷公民館に避難した。避難所では、みんなが暗い顔をして静かに広い部屋の端っこによって座っていた。ずっと降っている大雨の音だけが暗い部屋の中に響いていて怖かったのを覚えている。私は、後で来ると約束をした祖母をずっと待っていた。しかし、祖母が避難所に来ることとはなかった。

帰宅後、私は祖母に「どうして避難しなかったの」と聞いた。祖母は、「ひいばあちゃんは、車椅子だし、行ってもトイレやいつもやっていることができなくて、しんどいからだよ」と言っていた。私は、4年生で防災の勉強をした時に、あの時の祖母の言葉を思い出して、障がいがある人が避難できる所を調べた。そこで福祉避難所があると知った。

しかし、福祉避難所は、すぐに使えるものではなく、災害が起こってすぐは、みんなと同じ場所に避難しなければならぬ。そうだ。だから祖母たちは、避難しないという選択をしたのだと思った。

そこにいる人みんな被災者だから、自分の心配や不安で他の人のことを考えてあげるのは難しいかもしれないけれど、障がいがある人もない人も安心して避難し、命を守る選択ができるような避難所づくりと優しい気持ちが必要だと思う。そして、私たち小学生でもできる手伝いを学べる機会を増やしてほしい。私も困っている人の力になりたい。

【大洲市長賞】
改めて感じたこと



大洲中学校3年
橋本 莉菜

平成30年7月7日。愛媛県大洲市に西日本豪雨は甚大な被害をもたらし、あつという間に今までの生活、景色、人の命までも奪っていききました。

私が豪雨後、初めて見た肱川の町は、想像を絶する光景でした。たくさん物の物がなぎ倒され、「本当にここは肱川町なのか」と目を疑うようでした。西日本豪雨が起きた当時、私は小学6年生でした。実際に私が通っていた小学校も被災し、私の祖母の家も被害にあいました。それから復興の日々が始まりました。毎日掃除や片付け、物の移動など被災した方々も下を向いている暇などなく、肱川の人も一致団結で行う毎日でした。そんな中、いろいろな所からの救援物資が届き、ボランティアの方々に来ていただくなど、人と人の繋がりを深く感じるこ

ともできました。

豪雨災害が起こった年は、様々な行事が中止、延期された年でもありました。残念な気持ちもありましたが、それ以上に肱川町全体が案を出し合い、イベントもたくさん考えて、実施していただきました。私たちがこんな状況でも楽しめるようにと考えてくださる肱川町の人たちは、とても優しい人たちだと改めて思いました。そして、自分たちも同じ状況に置かれてい

る中、そんなことも関係なしに行動してくださり、強い人たちだと感じることもできました。私は今回、改めて西日本豪雨について深く考えることができました。そうした中で、肱川町の絆の強さや人の温かさ、協力することの大切さを改めて感じることができました。西日本豪雨は、決して私たちの代だけで風化させてはならない、これからも伝えていかなくはならないと思います。そしてそのため、私たちも忘れてはならない出来事だと思えます。まだまだこれから、大洲市をより良い市にしていきたいと思えます。

【大洲市教育委員会教育長賞】
笑顔から未来へ



大洲小学校5年
實藤 凜

私が住んでいる大洲で西日本豪雨のため、とても大きな災害が起こりました。その日は降り続く雨に何度も流れる市の放送などもありとても心配でした。知り合いの人から「こっちももう浸水しそう」や「もう浸かってしまった」と連絡があったり大変なことが起きていることは分かりました。亡くなった方もいたり、家を失ってしまった方もいたりとても悲しいことがたくさんありました。

でも、そんな中でもみんなが一日も早く復興していこうという取組があり、多くの方が協力し合い一致団結していました。私の知り合いや友人も家や店が浸水してしまったので私も何か手助けしたいと思い、片付けを手伝ったり物資を集めて持っていったりしました。みんなが助け合い、必死に復興に向け動い

ていて、その時のみんなの表情はどこかキラキラしているように私には見えました。

私のおじの店も浸水してしまったのですが、おじは自分の店も浸水しているのに自分の所より大変な知り合いがいるからと手伝いに行ったりしていて、その姿を見てすごいなと思いました。災害後、「がんばろう！大洲」の言葉をよく見かけましたが、私も同じ気持ちになりました。そうやってみんなが助け合いながら頑張ってきてくれたお陰で今の大洲があるんだと思います。あんなひどい災害はもう起こってほしくないし、あの光景も忘れることはないけれど、大洲がこれからもっと良くなって、明るくみんなが笑顔で幸せいっぱい町になってほしいです。

また、大洲にはたくさん良い所があって、大洲で作られた美味しいものもたくさんあるので、大洲産のものを積極的に食べたいと思います。

そして私も誰かのために行動できるような人になって、周りの人を笑顔にしたいです。

※掲載した作文は、読みやすいように原文のひらがな表記を漢字に変換し、一部句読点を加えています。



カナディアンシングル (左側 木元 鉄選手)



カナディアンペア (左から大洲高校の木元 鉄選手と森 俊輔選手のペア
右奥は、竹岡 陽紀選手と源田 颯龍選手のペア)



カナディアンフォア (上段: 左から木元 鉄選手、森 俊輔選手、
竹岡 陽紀選手、源田 颯龍選手)

木元 鉄選手 3冠

6月20日(日)、おしどり湖(鹿野川湖)で開催された第17回四国高等学校カヌー選手権大会で大洲高等学校の木元鉄選手が男子カナディアンシングル、ペア、フォアの3種目で優勝しました。

木元選手を始め、大洲高等学校カヌー部17名は、8月に福井県で開催されるインターハイへの出場が決定して全国大会での活躍が期待されています。

四国高等学校カヌー選手権大会



四国4県から12校、76人の選手がおしどり湖で熱い戦いを繰り広げていました。



大洲観光総合案内 ☎ 66655

【準備物】 着替え、タオルなど
【申し込み・問い合わせ先】

※増水などによる河川の状況で実施できない場合があります。

【場所】 大洲城下流域
※予約制です。

▽小学生以下 無料(ただし大人同伴)
▽小学4〜6年生 2千円
▽中学生以上 3千円

大洲城下の肱川において、カヌーやスタンドアップパドルボード(SUP)をリバーガイドのサポートで子どもから大人まで安全に楽しむことができます。肱川の水面から見上げる大洲城は、ここだけの眺めです。ゆったりとした流れの中で「肱川散歩」をしてみませんか。

【期間】 9月20日(月)までの土・日・祝日

【時間】
▽午前の部 午前10時〜正午
▽午後の部 午後1時〜3時

【料金】

ホリデーインカヌー開催中

平地区避難所開設・避難訓練

6月20日(日)、たいら自治会自主防災部会が、避難所開設・避難訓練を実施しました。大雨洪水警報が発表され、「高齢者等避難」が発令されたことを想定し、平公民館や平小学校、福祉避難所、各集会所において、避難所の開設と運営の手順を確認しました。

コロナ禍での避難を行うために、施設内での間仕切りテントの設営・撤去や発熱者の動線や部屋を分けることなどの訓練も実施しました。たいら自治会では、役員が中心となって役割分担を行い、安全・安心で適切な避難行動が実践できるよう取り組んでいます。



ぬくもり市が開催されました

6月20日(日)、大洲家族旅行村オートキャンプ場で「ぬくもり市」が開催されました。このイベントは、保護ネコや保護イヌが一匹でもすてきな家族と出会って欲しいと県内で保護活動をしている団体の支援につなげるために同キャンプ場と大洲まちづくりフリー茶論実行委員会が共催で開催したものです。当日は、「保護ネコ&イヌ譲渡会」をはじめ、本たちとの新しい出会いがある「本の市」、雑貨やカフェなども出店していました。

次回は、11月頃に開催予定です。



DX推進計画を策定します

アフターコロナの「新たな日常」の原動力として、制度や組織の在り方などをデジタル化に合わせて変革していく、社会全体のDX(デジタル・トランスフォーメーション)「デジタル変革」が求められています。市では、今年度、デジタル技術も活用して市民生活をより良いものにするためにDX推進計画の策定に取り組んでいます。

6月3日(木)、委託業務のスタートに当たり、受託者である株式会社Public dots & Company(パブリックドッツアンドカンパニー)とオンライン会議を実施しました。会議の中で二宮市長は、DXを推進するなかで「市民生活がストレスなく、幸せを感じられる環境づくり」、「ふるさと大洲で自信をもって安心して生活できるように、大洲でこれから求められる姿のマイนด์づくり」、「大洲市出身と若者が胸を張って言えるようなオンラインワンのまちづくり」を実現していきたいと述べました。

【問い合わせ先】
企画情報課
デジタル化推進係
☎ 1738



豊予交流

愛媛・大分両県の自治体同士でお互いの地域の魅力を紹介し合う取組を行っています。豊予海峡を挟んだ海の向こうに目を向けてみましょう。

大分県臼杵市



◀臼杵市公式マスコットキャラクター「ほっとさん」



臼杵市は大分県東南部に位置し、豊後水道に面した東部から南西部に楕円状に伸びた地形で、人口約35,000人の自然に囲まれたまちです。平成17年1月の市町村合併により、造船業や醸造業が盛んな旧臼杵市と農業を基幹産業とする旧野津町が一緒になり、産業バランスの取れたまちになりました。

また、「田舎暮らしの本」2021年2月号（宝島社）にて掲載された、『2021年版住みたい田舎ベストランキング』では、総合部門第3位（人口10万人未満の小さなまち部門）を獲得するなど、高い評価をいただいています。

■文化財や行事の紹介

瀬戸内海と太平洋が結節する位置にある臼杵市は、古くから海上交通の要衝として栄えました。約900年前に造られた国宝・特別史跡臼杵磨崖仏（臼杵石仏）や、国史跡下藤キリシタン墓地・市指定有形文化財寺小路磨崖クルスなど、全国を代表する仏教文化財とキリスト教文化財が存在していることからわかるように、臼杵はさまざまな外来文化を受け入れ、育ててきた土地でもあります。キリシタンであった大友宗麟のころに形成が始まり、江戸時代は東九州随一の商業地として栄えた臼杵城下町の名残をとどめる『二王座歴史の道』通りにその風情が漂っています。

また、臼杵城跡を満開の桜が彩る『臼杵城址桜まつり』、旧城下町では勇壮に山車が駆け巡る江戸時代の形態をいまに残す「臼杵祇園まつり」、3万本の「竹ぼんぼり」が町並みを幻想的で優しく照らし出す『うすき竹宵』の三つの行事は、この町の優雅な歴史を今に見せます。このほか、とんちの名人として名高い「吉四六さん」の名を冠した『吉四六まつり』、江戸時代の虫送り行事に始まる『うすき石仏火祭り』など、臼杵の歴史に根差した行事が四季折々に催されます。



▲国宝・特別史跡臼杵磨崖仏（臼杵石仏）



▲寺小路磨崖クルス



◀臼杵祇園まつり



うすき竹宵▶



■食の紹介



きらすまめし



黄飯・かやく



フグ料理

およそ2,500haもの農耕地でサツマイモやタマネギ、ピーマンなど多くの農産物が作られており、近年は「土づくりセンター」で作られた完熟堆肥の「うすき夢堆肥」を使った有機農業にも力を入れています。また、おからと新鮮な魚の切り身で作られた「きらすまめし」やクチナシの実で炊いた「黄飯」、魚肉や豆腐、野菜などを煮込んだ「かやく」などの伝統的な郷土料理があります。このほかにも臼杵を代表する特産品「かぼす」や臼杵のフグも全国的に広く知られています。

ぜひ、歴史と文化の薫る臼杵市にお越しください。

臼杵市
ホームページ▶



Facebook▶



LINE▶



問合せ先 大分県臼杵市 秘書・総合政策課

Tel.0972 (63) 1111 (代表)

【やみつき 無限ゴーヤ】



作り方

- ① ゴーヤはヘタを切り落とし、スプーンでワタを取り除いて薄切りにする。
- ② ①をボウルに入れ、塩を加えて10分程置いてから、その後、流水で洗い水気を絞る。
- ③ 別のボウルに②、水気を切ったツナ缶、☆を入れて混ぜ合わせる。
- ④ 味がなじんだら、器に盛りつけて出来上がり。

材料 (2人分)

ゴーヤ	1本 (160g)
塩	小さじ1
ツナ水煮缶	1缶
☆ゴマ油	大さじ1
☆ボン酢	大さじ1

ゴーヤの栄養

ゴーヤは、6月から8月が旬の夏野菜です。鮮やかな緑色をしていますが、緑黄色野菜ではなく「その他の野菜」に分類されます。ゴーヤの栄養素の特徴は、ビタミンCが豊富なことです。強い日差しでダメージを受けた肌の修復に役立ちます。

ゴーヤの保存に困ったときは、ワタを取り除いて薄切りにして、冷凍ゴーヤや干しゴーヤにしてはいかかでしょうか。凍らせたり、干すことで苦味が和らぎます。ゴーヤがたくさんある時は、試してみてください。

【レシピ提供：大洲市保健センター】

私たちにもできる

SDGs



最近、テレビや新聞などで『SDGs』という言葉をよく見聞きしませんか。SDGsは、「エス・ディー・ジーズ」と発音し、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。



2015年9月に国連で「貧困をなくそう」、「安全な水とトイレを世界中に」、「気候変動に具体的な対策を」、「海の豊かさを守ろう」など、17の目標（ゴール）が定められました。これらは、途上国だけの問題ではありません。世界を変えるための大きな目標であっても、私たち一人ひとりが一緒になって実践し、将来の世代が安心して暮らせる持続可能な社会を実現していくことが大切になります。

日常生活においても簡単に取り入れられる行動もたくさんあります。次号からSDGsの具体的な17の目標と私たちにもできることについて紹介していきます。

文化財

大川鍾乳洞
大洲市指定天然記念物
個人所有



鍾乳洞とは、石灰岩が水によって浸食されてできた洞窟のことです。この大川鍾乳洞は、森山地区の南部、椽元川中流域の右岸側に位置し、古生代石炭紀後半（約3億2,300万～2億9,900万年前）から中生代三畳紀（約2億5,190万～2億130万年前）に形成された石灰岩地帯にあります。石灰岩地帯は、市内ではごくわずかな範囲にしか存在しないため、めずらしい地質といえます。

この鍾乳洞は、約20×30mの規模で広がり、出入口は3カ所あります。内部は山の斜面に沿うようにして傾斜がつき、鍾乳洞に特徴的なフローストーン（流れ石）などを観察することができます。

鍾乳洞としては小規模なものですが、市内では唯一のものであり、学術的に価値が高く貴重です。

（昭和31年9月30日指定）